

2015年10月8日

「平成27年度航空機事故消火救難総合訓練（第34回）」を 10月22日（木）に実施します！

成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が一体となった各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図ることを目的として、下記のとおり消火救難総合訓練を実施します。

記

1 訓練の概要

日時：10月22日（木）13:45～15:45

※台風等の荒天による中止の判断は、当日の10:00までに行います。

場所：成田国際空港内 整備地区エプロン及び第2旅客ターミナル70番バスゲート

主唱：千葉県

主催：成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、成田国際空港株式会社

2 参加機関、人員、車両台数

65機関、約1,200名、約300台（緊急車両等）

3 提供航空機 日本航空株式会社 B787型機

※機材は変更になる可能性があります。



平成26年度の訓練模様

4 今年度の特徴

今年度は、従来の訓練内容を踏襲しつつ、模擬搭乗者数や負傷程度のブラインド要素を強化し、事故発生直後から事態収束までの一連の流れで、より実践的で臨場感のある訓練を目指します。なお、本訓練の重点項目は以下の5点とします。

- 模擬搭乗者数や負傷程度のブラインド化による確実な状況把握
- 医療救護活動における負傷者の処置に関する適切な優先順位の決定
- 現場調整所と合同対策本部の連携及び的確な意思決定
- 救急指揮所での確実な負傷者情報整理及び救急搬送による効率的な運用
- 無症者及び軽症者のケアを実施する被災者一時収容所の設置運用